

# 大村の農林水産業

ハウス内の快適な環境で育てられた大玉トマト



## 魅力ある農林水産業の振興

本市は温暖な気候に加え、多良山系の山林と水が豊富で、古くから農業が盛んな地域です。

農業は、本市の面積の約14%を占めている農地で、野菜(トマト、イチゴ、キュウリなど)、果樹(ミカン、ナシ、ブドウなど)、花き(カーネーションなど)、畜産(肉用牛、豚など)、米などが生産されています。いわゆる少量多品目の特徴で、地域の特徴に応じた生産を推進しています。林業は、本市の面積の47%を占めている森林の集約化により、計画的な間伐を進め、森林の保全に取り組んでいます。水産業は、大村湾を漁場とした沿岸漁業が主体で、主なものはナマコ・サザエなどで、近年はイカの漁獲量も増加しています。

農林水産業者の高齢化や後継者不足などを解消するため、若い人にとって魅力ある産業となるよう各種施策に取り組みんでいます。農業については、担い手の育成と確保を行い、スマート農業の導入などによる生産性の向上と多収量化などを支援することにより、所得向上を目指しています。林業については、作業環境改善のため、

高性能林業機械を導入するとともに、森林環境譲与税を活用した森林管理、人材育成、木材利用などにより、林業経営の強化に取り組んでいます。水産業については、漁場環境の保全とあわせて、種苗放流による資源管理型漁業を推進しています。また、大村産水産物のブランド化など魅力発信に努めています。



優れた肉質の長崎和牛



大村産ナマコブランド「琴依」



高性能林業機械による作業